



市が東京都銀座に所有している土地・建物(資料写真)

**問** 東京銀座に所有している土地の評価額は。(牧野)

**答** 平成5年には約10億円であったが現在は約1億円。

**問** この土地の活用は。(牧野)

**答** 売却した場合、塩尻駅前整備に活用したい。



市の遊休地・遊休財産(旧人材育成エリア 片丘)

**◆未活用遊休地の扱い**

**問** 市が保有している遊休地、遊休財産はどのくらいあるのか。(牧野)

**答** 旧人材育成エリア用地、柿沢苗圃跡他、合計約30ha。



「ブランド構築」とは何か？今後研究に期待する

**◆塩尻「ブランド」構築**

**問** 地域全体の「ブランド化」を目指すところがあるが、理解しにくい。(森川)

# ブランド推進事業に期待するもの

**◆住民税還付について**

**問** 税源移譲により住民税のみ増額となった対象者への対応は。(山口)

**答** 平成19年の所得が大幅に減額した人で、19年1月1日以降市内に在住の約2千人が該当し、直接申告書を送付し手続後に差額分を還付する。

**◆有効なワインのPRを**

**問** 塩尻産ワインが国内外で評価されている。塩尻の知名度アップのためにも機会を逃さずPRをしてほしい。市民向けセミナー等が必要と思うがどうか。また、長野県原産地呼称管理制度(NAC)の

**問** 麻布十番アンテナショップの予定、計画は。(森川)

**答** 初期投資で約5〜6千万円の費用が想定され、容易に設置できない。今後も場所や方法も含めて研究していく。



伝統工芸品の需用拡大を

**問** 市民に本市に愛着と誇りを持っていただくために、人材の育成や誇れる産業の創出そして現在ある資源に磨きをかける。ネットワーク会議を中心にブランド構築したい。

**◆静岡県袋井市との姉妹提携は**

**問** 来年市制50周年、合併5周年だ、この機会に姉妹都市として提携はどうか。(森川)

**答** 行政問の主導でなく、議会や教育委員会等の交流も含め、市民の皆さんの中から盛り上がり、醸成が進められることが出来たら良いと考える。



多くの塩尻産ワインが長野県原産地呼称管理制度の認定を受けている

**活用は。**(丸山)

**答** NACは平成14年に創設され、認定の約70%が塩尻産ワインである。それらの強みも生かし、マスコミや旅行・観光・飲食関係者を招いてのプレゼンテーション等もしてきた。今後も展開していく。セミナー等については市民に開催情報を発信していく。